

# 平和記念式典派遣増など平和政策充実を！

## 総務常任委員会で提案しました

今議会の総務常任委員会で私が取り上げたいいくつかの事業について報告します。

自治・市民環境部関係ではまず、非核平和友好都市宣言推進事業を取り上げました。

同事業の柱のひとつ、広島平和記念式典への中学生派遣事業については、村山市政時代に、行政改革の一環だとして、もとは各校1名、全体で24人の派遣だったものを、3分の1に減らしました。

私は、新たな中川市政はこれを引き継ぐのか、それとも再検討し、充実させるのかが問われているとのべ、非核平和友好都市宣言にふさわしい改善を求めました。行政側は市長との協議、検討を約束しました。また、平和展についても言及し、民間団体が取り組んでいる「平和のための戦争展」なども交流し、より充実したものにしよう求めました。

冬期生活安全・安心確保事業については、実態をよく把握し、中山間地の豪雪地帯住民の冬場の暮らしを確実に守る体制を強化しよう求めました。

質問のなかでは、3つの対象要件のうち、高齢化率50%以上、30世帯未満の町内会が157あるものの、集落内未除雪区間1キロ以上という対象要件の1つについては調査が十分でないことがわかりました。遅くない時期に調査するよう求めました。

人口減少、過疎化は急速に進んでいるので、この事業の体制確保



のための検討を急ぐべきだと訴えました。

ふるさと交流に関する事業について、東京吉川会など郷人会は急速に活動が弱まっているとして、それぞれの組織の活動費の支援も含めて検討するよう求めました。

企画政策部関係では、並行在来線対策事業、歴史資源施設管理運営費について取り上げました。このうち、歴史資源施設については、「ライオン像のある館」が直江津まち歩きや寄り道ライブなどの活動をやるなかで、まちづくりの拠点として機能している実態を紹介し、そこから教訓を学び、他の施設にも広げていくことが重要だと訴えました。イラストは委員会の休憩時間の様子です。

## 入札制度改革などでも提言

財務部の決算審査ではまず、庁舎管理費をとりあげました。「施設利用者の安全性及び快適性」を確保するよう努力してきたとのことですが、新型コロナ対策の視点でどういう取組をしてきたのかを問いました。

そのなかでは多くの方が利用するところでは、なるべく手で触れること少なくする改良、修繕が必要だと訴え、具体的には市役所西口のドアの改良、修繕を訴えました。市側は検討を

約束しました。

また、入札契約制度の改善を求め、昨年度の「工事における工事別の契約件数及び平均落札率」において、管工事が他の工種に比べて大きく低くなっていたことから、その理由を聞き、入札結果を分析し、制度の見直しに結び付けていくよう求めました。

さらに、入札不調から随意契約に移行した事例についても言及し、これまで、随意契約に移行するケースと改めて入札に付す基準についての文書（入札の不調又は不落における随意契約の事務取扱要領）の見直しの必要性があるかないかも問いました。市側は「要領の見直しについては考えていない」と答えましたが、この点については、さらに入札結果の分析が必要と考えます。「入札不調から随意契約に移行した工事」の平均落札率と「改めて入札を実施したケース」の平均落札率の比較などを通じて、新たな事実がわかるはずで、左のイラストも休憩時間中の様子です。



【センニンソウ】キンポウゲ科のつる性半低木。漢字で「仙人掌」と書きます。別名はウマクワズ、馬も絶対食わない有毒植物です。茎や葉の汁でかぶれを起こすこともあるそうです。花期は8月～9月です。花の色は白です。上を向いて半開きします。花言葉は「小さな愛」「貧しくても高潔」。写真は9月12日、吉川区代石にて撮影しました。

## はしづめ法一の活動レポート

No.2078 2022.9.25

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のいかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL http://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見てある記」はこちら

橋爪法一

検索

新たにブログ「ホーセの見てある記3」を立ち上げました。上のQRコードを読み取るか、「ホーセの見てある記3」を検索してみてください。

# 春よ来い

## 第七二五回 四八日ぶりに帰宅

七月下旬に入院した母が四八日ぶりに家に帰ってきました。恢復して退院したのではなく、家で最後を迎えられるようにと退院させてもらったのです。

病院側との協議では、当日の退院時間は午前十一時という約束になっていました。一〇分前に行くと、すでに準備ができていて、担当のお医者さんをはじめ、看護師さんなどお世話になった何人もスタッフのみなさんがナースセンター前に集合して見送ってくださいました。

お医者さんからは、「ここまで来たら、何か美味しいものを食べさせてあげたいですね」と言われました。もちろん、食べられる状態ではありません。できたとしても、好きな甘酒などを何かにしみこませ、口に塗ってあげる程度かと思えます。でも貴重なアドバイスでした。見送ってくださいました看護師さんの中には、市役所でお世話になっている人のお連れ合いもおられました。何らかのつながりのある人がおられるというのはうれしいですね。

自宅での看取りのために退院させるという経験は今回が初めてでした。退院までには微妙なところがあって、ほんとうに大勢の皆さんのお力添えがあり実現しました。心から感謝申し上げます。

病院からは福祉タクシーで帰宅しました。私がタクシーの先導をしたのですが、タクシーの運転手さんは吉川区竹直出身の方だったということでした。また、一緒にタクシーに乗り込んでくださった看護師さんは吉川区で勤務をされたこともある人で、私の知り合いです。偶然とはいえ、うれしかったですね。病院では、「途中でだめになることもありまして」と聞いていたこともあって、車はゆっくり走らせ、約五〇分かけて自宅に無事到着しました。看護師さんの話によると、県道からわが家に行く農道に入った途端、母は目

を開けたといえます。感動しました。

午後一時過ぎからは近所の人や親せきの人、母の友達の人などが次々と訪問してくださいました。私の弟も遠くにいる子どもPCR検査をしてわが家にきてくれました。病院でお医者さんからは、「きょうはいままでで最高に良い状態です」と言われたのですが、近所の人や親せきの人から声をかけられると、母は数回にわたって、目を開けて、口をもごもごさせました。近所のMさんは、「いやー、いかとお。ばあちゃん目を開けてくんなった。それも二回もだよね。ばあちゃんには、また一緒にお茶飲みしようだね、と言ったこてね」と喜んでくださいました。遠くから来た従兄の嫁さんや従姉も母が口を動かしたり、目をちくりしたこと、から、「うれしい、来たかいがあったわ」と言ってくれました。なかには母と記念写真を撮る人もいました。病院では面会制限などもあって、なかなかできなかったのですが、母が入院前、電話をちょこちょこかけていた人にも電話をしました。その一人は、いまは要介護状態となっている大島区板山出身のKさんです。Kさんに電話すると、「ばあちゃん、おれだよ。じちゃんが迎えに来たそつてもまだ行っちゃだめだよ。こんだ、お茶飲みしよう」と声をかけてくださいました。母は「しゃべれませんが、相手の人の声は聞こえたようで、この時も口をもごもご動かしていました。」

この日の夜は四八日ぶりに母と同じ部屋で寝ました。一年半にわたり、一緒に寝ていた部屋です。弟が付き添いを替わろうかと言ってくれたのですが、断りました。最初の晩は私がそばにいたからです。深夜に母の頭をイコイコしていると、目をぱちぱち開けて私をじっと見てくれました。口も動かしました。それだけで疲れがどこかへ行きました。

## 柿崎などで2つの作品展鑑賞

9日、高田図書館の小川未明文学館ギャラリーで開催されていた第11回写真かたくり写真展を観てきました。水野泰一さん、平田一幸さんなどこれまでお世話になった人の写真が4点ずつ、並んでいました。水野さんはサクラの花の美しさを見事に捉えた作品でした。平田さんからおすすめの写真は私の近所の代石池でのフキノトウの写真です。どこかから流れてきたようなのですが、不思議で感動的な光景でした。

もう1つ、柿崎区の浄福寺で開催されていた「手づくり作品展」も17日、観てきました。内山輝義さん、丸山久美子さん、小竿隆さんが竹細工で背中かきの道具や灯籠、置物などの作品をたくさん出展されていました。松崎久美子さんは紙バンドでカガを、池田康子さんはアケビのツルでカガやザルを制作されていました。このほかにも、坂井亮円さんのさわり織、五十嵐夷廣さんの木彫り作品、原佳子さんと小林美江子さんの梁め物、平井孝さんの木工、清水幸雄さんの工芸なども展示されていました。いつも思うことですが、上越には素敵な作家さんが大勢いますね。



上越地域各消防署における  
空間放射線量率測定結果  
測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。  
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月14日(水)	9月21日(水)
上越南消防署	0.047	0.050
上越北消防署	0.043	0.050
新井消防署	0.040	0.057
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.050	0.047
高士分遣所	0.050	0.047

# 春よ来い

## 第七二五回 四八日ぶりに帰宅

七月下旬に入院した母が四八日ぶりに家に帰ってきました。恢復して退院したのではなく、家で最後を迎えられるようにと退院させてもらったのです。

病院側との協議では、当日の退院時間は午前十一時という約束になっていました。一〇分前に行くと、すでに準備ができていて、担当のお医者さんをはじめ、看護師さんなどお世話になった何人もスタッフのみなさんがナースセンター前に集合して見送ってくださいました。

お医者さんからは、「ここまで来たら、「何か美味しいものを食べさせてあげたいですね」と言われました。もちろん、食べられる状態ではありません。できたとしても、好きな甘酒などを何かにしみこませ、口に塗ってあげる程度かと思えます。でも貴重なアドバイスでした。見送ってくださいました看護師さんの中には、市役所でお世話になっている人のお連れ合いもおられました。何らかのつながりのある人がおられるというのはうれしいですね。

自宅での看取りのために退院させるという経験は今回が初めてでした。退院までには微妙なところがあって、ほんとうに大勢の皆さんのお力添えがあり実現しました。心から感謝申し上げます。

病院からは福祉タクシーで帰宅しました。私がタクシーの先導をしたのですが、タクシーの運転手さんは吉川区竹直出身の方だったということでした。また、一緒にタクシーに乗り込んでくださった看護師さんは吉川区で勤務をされたこともある人で、私の知り合いです。偶然とはいえ、うれしかったですね。病院では、「途中でだめになることもありまして」と聞いていたこともあって、車はゆっくり走らせ、約五〇分かけて自宅に無事到着しました。看護師さんの話によると、県道からわが家に行く農道に入った途端、母は目

を開けたといひます。感動しました。

午後一時過ぎからは近所の人や親せきの人、母の友達の人などが次々と訪問してくださいました。私の弟も遠くにいる子どもPCR検査をしてわが家にきてくれました。病院でお医者さんからは、「きょうはいままでで最高に良い状態です」と言われたのですが、近所の人や親せきの人から声をかけられると、母は数回にわたって、目を開けて、口をもごもごさせました。近所のMさんは、「いやー、いかとお。ばあちゃん目を開けてくんかった。それも二回もだよね。ばあちゃんには、また一緒にお茶飲みしようだね、と言ったことね」と喜んでくださいました。遠くから来た従兄の嫁さんや従姉も母が口を動かしたり、目をちくりしたこと、から、「うれしい、来たかいがあったわ」と言ってくれました。なかには母と記念写真を撮る人もいました。病院では面会制限などもあって、なかなかできなかったのですが、母が入院前、電話をちょこちょこかけていた人にも電話をしました。その一人は、いまは要介護状態となつている大島区板山出身のKさんです。Kさんに電話すると、「ばあちゃん、おれだよ。じちゃんが迎えに来たそつてもまだ行っちゃだめだよ。こんだ、お茶飲みしよう」と声をかけてくださいました。母は「しゃべれませんが、相手の人の声は聞こえたようで、この時も口をもごもご動かしていました。

この日の夜は四八日ぶりに母と同じ部屋で寝ました。一年半にわたり、一緒に寝ていた部屋です。弟が付き添いを替わろうかと言ってくれたのですが、断りました。最初の晩は私がそばにいたからです。深夜に母の頭をイコイコしていると、目をぱちぱち開けて私をじっと見てくれました。口も動かしました。それだけで疲れがどこかへ行きました。

## 柿崎区で「手づくり手しごと作品展」開催

柿崎区の浄福寺で開催されていた「手しごと手づくり作品展」を17日、観てきました。

内山輝義さんなどの竹細工、紙バンド、さをり織、木彫り作品、染め物、木工、工芸などの見事な作品もが展示されていました。いつも思うことですが、上越には素敵な作家さんが大勢いますね。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月14日(水)	9月21日(水)
上越南消防署	0.047	0.050
上越北消防署	0.043	0.050
新井消防署	0.040	0.057
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.050	0.047
高士分遣所	0.050	0.047

## 8冊目のエッセイ集発刊

日々の暮らしのなかの小さな幸せにスポットをあてたエッセイ集『顔こしらえ』を出しました。昨年出した『笑顔ふたたび』『じゃがじゃが煮』に続く8冊目のエッセイ集となります。

今回もアマゾンからの発売です。定価は税込みで1595円。ご希望の方はアマゾンに直接注文をお願いします。インターネットでの注文が苦手という方は、私の携帯(090-5392-1961)までお知らせください。上越市内については、私がお届けいたします。

エッセイ集  
**顔こしらえ**



**橋爪法一**

この本を読むと、  
気持ちがやさしくなります。

知話舎